

世界遺産子ども大使フォーラム in 熊野古道センター

世界遺産子ども大使報告会

2008年2月10日



三重県立熊野古道センター

目次

世界遺産子ども大使フォーラム in 熊野古道センター

世界遺産子ども大使報告会

開会挨拶	ページ	
三重県立熊野古道センター長	花尻薫	1
三重県知事	野呂昭彦氏	2
第一部		
知床(斜里町)	斜里町立ウトロ小学校	4
知床(羅臼町)	羅臼町立春松中学校	15
白神山地	八峰町立八森中学校	18
	藤里町立藤里中学校	26
日光の社寺	日光市立東中学校	44
第二部		
白川郷・五箇山の合掌造り集落	白川村立白川中学校	57
屋久島	屋久島町立一湊中学校	69
紀伊山地の霊場と参詣道(三重県)	紀北町立赤羽中学校	75
紀伊山地の霊場と参詣道(奈良県)	十津川村立平谷小学校	84
紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県)	田辺市立三里中学校	95
尾鷲の紹介	尾鷲市立尾鷲中学校	116

子供大使

北海道斜里町立ウトロ小学校……………梶原大悟さん(5年)
北海道羅臼町立春松中学校……………遠嶋柚さん(2年)
秋田県八峰町立八森中学校……………鈴木茜さん(2年)・熊谷みずはさん(2年)
秋田県藤里町立藤里中学校……………淡路航生さん(2年)・細川武尊さん(2年)
栃木県日光市立東中学校……………桑名隼平さん(2年)・小又千夏さん(2年)
岐阜県白川村立白川中学校……………木戸口ななみさん(2年)・和田結希さん(2年)
鹿児島県屋久島町立一湊中学校………真辺敬吾さん(3年)・山尾閑さん(2年)
三重県紀北町立赤羽中学校……………平野はるみさん(3年)・平野麻衣さん(3年)
奈良県十津川村立平谷小学校……………玉置鯉隆さん(6年)・天野雅也さん(5年)
和歌山県田辺市立三里中学校……………澤あも愛紅さん(2年)・野中彩加さん(2年)

司会者

三重県尾鷲市立尾鷲中学校……………藤原小百合さん(3年)・高芝瞳さん(3年)

白川郷・五箇山の合掌造り集落



岐阜県世界文化遺産白川郷代表で来ました白川村立白川中学校の発表を始めます。

みなさん、今日は、岐阜県大野郡白川村立白川中学校の和田と木戸口です。地域に世界文化遺産のある白川中学校としての取り組みを発表します。この写真は、荻町にある和田家の合掌作り屋根です。白川郷一体にはこのような屋根が数多くありました。このような大

きな建物を維持するには地域の協力が必要です。地域が協力して行うことを「結(ゆい)」と言います。私たちは、この「結の精神」を引き継ぐ、「はい、私がやります運動」を行っています。

さて、白川村は岐阜県の富山県境にあります。高山市から凡そ75キロメートル、富山市からも凡そ



60キロメートル離れています。今年の7月に東海北陸自動車道が全面開通します。そうなれば、自動車道で白川郷に行くことが出来るようになります。冬は雪が多く、多いときは4メートルを超える年もあります。今年は雪が少ないのですが、それでも毎日雪は降っています。昨日の夜は、合掌集落のライトアップがありました。とても多くの観光客が来村しています。

白川村について

- ◇荅川村と白川村を白川郷と呼んでいた。
- ◇明治8年7月29日 立村
- ◇白川村の人口 1883人(世帯数590)
- ◇観光客数 年間140万人
- ◇どぶろく祭り
- ◇豪雪地帯
- ◇白山国立公園
- ◇合掌造り家屋



次に、白川村について簡単に説明します。飛騨には、昔、13郷がありました。庄川沿いの地域を白川郷と呼んでいました。現在、白川郷と言えば白川村を指しています。人口は、2000人弱です。平成7年に世界遺産登録されてからは、観光客が年間140万人来村します。どぶろく祭り、豪雪地帯、白山国立公園、合掌造り集落が有名です。本年度のNHKの番組「行く年来る年」に雪の合掌集落が放映されました。

はい！わたしがやります運動

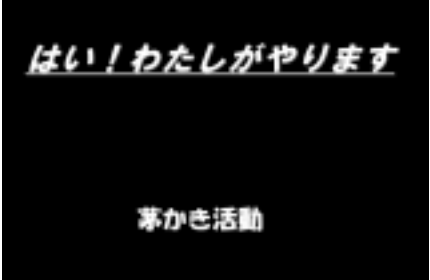
- 1 茅かき活動
- 2 茅葺き体験
- 3 地域清掃活動
- 4 異文化理解



地域の伝統を引き継ぐ

では、白川中学校の世界遺産を守る活動についてお話しします。結の精神を受け継ぐ「はい！私がやります運動」として次の4つの活動について、順に説明します。1つめが「茅かき活動」です。合掌造りの屋根を葺く茅を刈る活動のことです。茅を刈ることを「茅かき」と言います。2つめが「茅葺き体験」です。茅かきした茅を、実際に屋根に葺きます。そのお手伝いをしています。3つめが「地域清掃活動」です。学校の中だけでなく、地域でも

「はい、私がやります」運動を行っています。4つめが「異文化理解」です。平成5年度より、オーストラリアのマンリーでホームステイの学習を行っています。また、合掌つくり集落は観光地です。最近では外国の方が増え、接する機会も増えています。このことから、違う文化を理解する学習をすることは大切と考えています。4つの活動を行うことが白川村の伝統を引き継いでいくことにつながると考えました。



茅かき活動について、説明をします。



写真のように茅(ススキ)を刈る活動のことを「茅かき」と言います。

茅かき活動

平成19年度	吉原谷	平成 8年度	馬狩
平成18年度	吉原谷	平成 7年度	馬狩
平成17年度	吉原谷	平成 6年度	馬狩
平成15年度	吉原谷	平成 5年度	馬狩
平成14年度	実施できず	平成 4年度	実施できず
平成13年度	吉原谷	平成 3年度	実施できず
平成12年度	吉原谷	平成 2年度	実施できず
平成11年度	馬狩	平成元年度	上町の上
平成10年度	馬狩	昭和63年度	実施できず
平成 9年度	馬狩	昭和62年度	上町の上

昭和62年度より、合掌づくりの屋根材を確保する活動を行っています。現在の茅場は吉原谷(よしはらたに)です。以前は、上町(かんまち)や馬狩(まがり)という地区でも行っていました。馬狩は現在、トヨタ白川郷自然学校がある場所です。



これは、地域の方から、茅の説明を受けている写真です。茅は、屋根を葺く材料のことを言います。地域によっていろいろな植物が使われています。白川郷では、大茅(ススキ)、小茅(カリヤス)が使われています。右手に持っているのが大茅です。左手に持っているのが小茅です。白川郷の茅は、小茅が使われていましたが、最近では大茅になっているとお話を聞きました。



学校近くの一面のススキの野原です。この写真は、茅場で茅の刈り方と束にする方法を聞いているところです。この日は、保護者、地域の方、トヨタ自動車のボランティアの方などが参加しました。生徒代表の挨拶では、「結の精神で協力しよう。」、頼まれても「はい、私がやります」頼まれなくても「はい、私がやります」で行いましょう、と声かけがありました。



鎌を使い大茅を刈ります。生徒は鎌を使うことに不慣れなので、なかなかはかどりません。手前に倒れているのは、刈った茅です。



合掌づくりに関っている地域の方は、写真のように、茅を立てています。大茅がないところは、刈り取った跡です。大茅の種が首から入って痒くなったり、多くの汗がでたりして作業としては、大変でした。



刈り取った茅は、写真のようにトラックで乾燥させる場所まで運んでいただきます。積み込みと積み下ろしは手作業で行います。



右に見えている建物は、茅収納庫です。乾燥させた茅は、ここに保管されます。中学校で刈った茅は、左に見えるようにフェンスに立てかけ、乾燥させます。白く見えるのは、ススキの穂が飛んでいるからです。



こちらの方法は、茅の束を6束以上集め、三角形にして乾燥させます。丁度、右手に立っている茅が見えます。このようにして、乾燥させます。普通は2週間ほどで乾燥します。今年は、青いうちに刈り取ったので乾燥に時間がかかりました。この作業は雪が降る前に行わないと、使えなくなります。



最後にみんなで記念撮影をしました。痒くなるし、作業も大変ですが、自分たちが刈った茅が合掌造りの屋根の葺き替えに使われるのは、何ともいえない喜びがあります。白川村の一員ということを実感することができます。

はい！わたしがやります

茅葺き体験

茅葺き体験を説明します。



これは、本年度、地域をあげて、「結」で行った合掌造り家屋の屋根葺きの様子です。

結 茅葺き体験

平成19年度	民宿「利兵衛」
平成18年度	白水園
平成14年度	野田重夫さん宅
平成13年度	長瀬惇一さん宅
平成12年度	松古四三平さん宅
平成10年度	大谷昭二さん宅
平成9年度	鈴口茂さん宅
平成8年度	明善寺庫裏東側
平成6年度	明善寺本堂(表側)
平成5年度	水野留治さん宅
平成4年度	山腰博文さん宅
平成3年度	明善寺本堂(裏側)
平成元年度	福地豊さん宅
昭和62年度	明善寺庫裏西側

ご覧のように、茅葺きは、昭和62年度より行っています。中学生ができることは、茅を運ぶことと掃除です。茅葺きはそんなに機会があるわけでもないのに、貴重な体験となります。少なくなってしまった合掌つくりを守る意味でも、大切にしたいことだと考えています。



はじめに、地域の方から、「昨年中学生が茅かきをした茅をこれから使います。」という話がありました。私たちが茅かきした茅が役に立っているかと思うとうれしくなります。この写真は、茅収納庫からトラックで運んできた茅を手渡しで下ろすところです。日曜日に行ったため、たくさんの観光客の方も見えました。



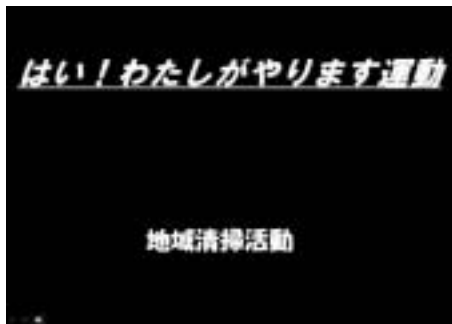
このように、トラックから、屋根葺きする家屋まで運んで行きます。屋根は、地域の方が大勢登り茅を上げていきます。



茅の束は途中で崩れたりするので、葉や穂が落ちます。そこで、時間をみつけて掃除をします。首にタオルを巻いています。これは、細かいほこりなどが首から入るのを防ぐためです。



最後に屋根に上って記念撮影です。屋根に上ることはできないので唯一のチャンスです。屋根に上ると随分と高く感じます。急勾配にしないと、雪が落ちないからだと感じました。



次に、地域清掃運動の説明をします。



「結の精神」から、「はい、私がやります」運動を白川中学校では行っています。世界遺産を守るのは、茅かきだけではなく、「結の精神」を守ることが大切だと考えます。そこで、学校の中で行っている「はい、私がやります」運動を地域まで広げようと生徒会は考えました。この写真は、この活動の意味を話しているところです。



見えにくいところにもゴミがあります

白川村は意外とゴミは少ないのですが、しかし、よく見るといっぱいあります。



たばこの吸い殻も拾いました

小さなゴミも見逃さず拾っていきます。



雪が多いので水路に蓋はありません。

このステージの裏にポスターが貼ってあるのでそれを見るとわかりますが、白川村は豪雪地帯なので、水路には年中水が流れています。また、雪を溶かすために蓋がついてありません。そんな、水路にゴミが落ちています。

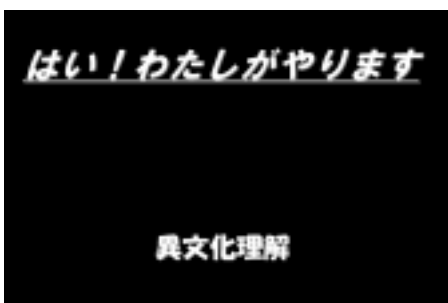


ゴミを分別します

拾ってきたゴミを学校で分別しています。傘は、金属と布の部分に分けました。この作業は手間がかかりました。「はい、わたしがやります」の掛け声の下で、多くのゴミを拾って行きました。



この写真は地域での活動の様子です。公園などは、私たちだけでなく、小さい子や大人、お年寄りも使うことが多いので、地域の方にも喜んでいただきました。地域の方に「ありがとう。」と言われたときは、「やってよかった。」という充実感がありました。また、地域の方や小学生と一緒に話をしながら活動することも楽しく、喜びを感じました。



次に異文化理解について説明をします。なぜ、異文化理解なのでしょう。1つ目は白川中学校は平成5年度から海外研修を行っています。この学習を活かすことです。2つ目は白川村に多くの外国の方が訪れるようになったので、違う文化に目を向ける必要が出てきたからです。



オーストラリアのシドニー近くにマンリーという町があります。毎年、ここでホームステイをしながら英語を学習したり、違う文化に触れる学習を行っています。この写真は、小学校で白川郷の説明を行っているところです。言葉が違うので、緊張して発表を行いました。



学校の施設を見学させていただきました。英語の説明なので分かるところも分からないところもありました。



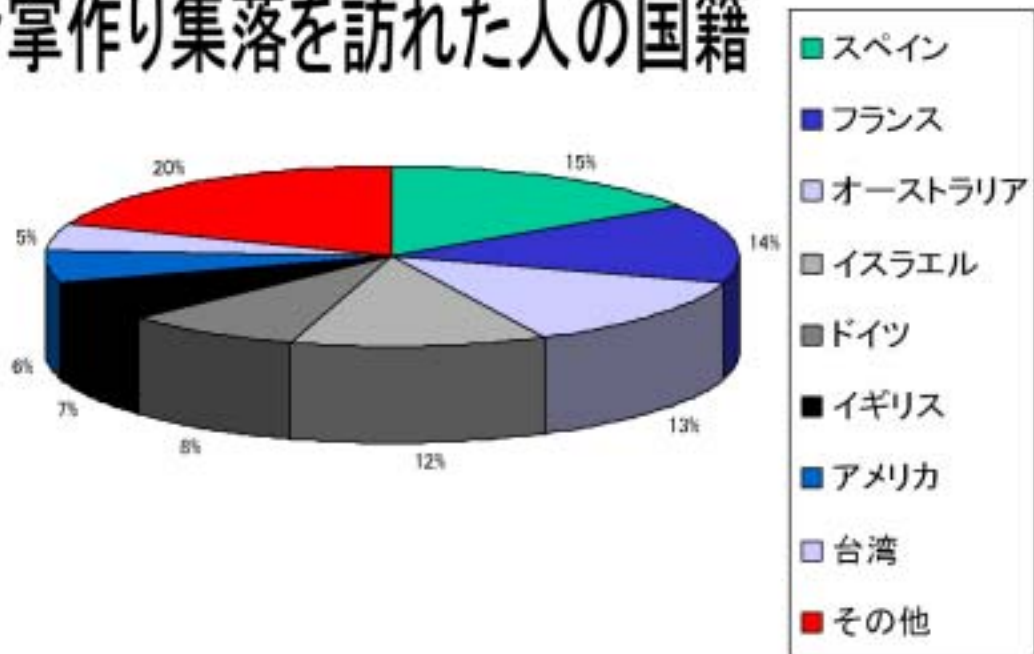
次に、総合的な学習の時間での様子を説明します。この写真は、外国ではありません。うしろにすだれがあることからわかるように、合掌造り集落(萩町)の様子です。海外研修で学んだことを活かして、英語で白川のことを質問しました。ちなみに、この方はイスラエルの方です。

この写真だけをみるとこの国が分かりませんが、白川郷です。積極的に話しかけました。海外研修に行く前だったら、こんな行動がとれたかどうかはわかりませんが、「はい、私がやります」の精神で取り組みました。この方は、フランス人の方です。



仲良くなった外国の方と記念撮影をしました。この方々は、スペインの方です。

合掌作り集落を訪れた人の国籍



総合的な学習の時間：萩町での調査

合掌造り集落(萩町)で調査した国籍のグラフです。必ずしも英語が通じるわけではありません。最近では台湾、韓国の方が多くなっています。世界遺産に登録されてからは、年間140万人の観光客が白川村を訪れています。今回の調査は、白川村についての印象・感想等が中心でした。しかし、いろいろな国の方が訪れることがわかったので、白川村として何ができる、何をしたらよいかを調べて、情報発信ができればいいなと思いました。



白川村は小さな村です。白川中学校も全校生徒52人と小さな学校です。でも、私たちは、そんな白川村、白川中学校に誇りと愛着を持っています。これからも、この白川村で生活できることに感謝の気持ちを持ち、地域の一員として、地域のためにできることをやっていきたいと思っています。白川村の伝統である「結」を大切に、地域のために

活動でき、「はい！私がやります」と人のために動ける、そんな白川中学校をこれからも作っていきたいと思います。

これで白川郷白川村立白川中学校の発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。

司会者 : ありがとうございました。続きまして鹿児島県の世界自然遺産屋久島代表の子ども大使、屋久島町立一湊中学校3年生、真辺敬吾さんと2年生の山尾閑くんによる発表です。それではお願いします。

屋久島



皆さんこんにちは。私達は鹿児島県の屋久島にある一湊中学校から来ました2年の山尾閑です。3年の真辺敬吾です。今日は皆さんに私たちの住む屋久島のことや私たちの通う一湊中学校についてお話ししたいと思います。多少間違ふことがあるかも知れませんがどうかご容赦下さい。

では始めに屋久島について簡単に紹介したいと思います。屋久島は、鹿児島県にある島の1つで鹿児島市から約150kmほど南に浮かぶ島です。外周約130kmの比較的大きな島で、島の東側の一部が堆積岩でできていますが、ほとんどは花崗岩でできています。九州で最も高い宮之浦岳、九州で第3位の永田岳を始め、屋久島では奥岳とよばれる高い山々がそびえ立っていることから洋上アルプスと呼ばれます。

三重県立熊野古道センター

NPO 法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク
〒519-3625 三重県尾鷲市大字向井字村島 12-4
TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667